

## 2500年前から預言されていたアメリカ

現在、世界の覇権国家となっているのがアメリカですが、このアメリカのことが聖書の中に書かれていると言われれば驚くでしょうか。しかもこのアメリカのことに言及したのが、今から2500年ほど前であると言われれば信じられるでしょうか。

### 王が見た夢

聖書の中にダニエル書と呼ばれる書物があります。ダニエルは前6世紀ごろに活躍した人物で、少年時代から非常に優秀な人物として知られていました。

若い時にユダヤからバビロンへ連れていかれます。

その時のバビロンの王は有名なネブカドネザルでした。ある夜、バビロンの王ネブカドネザルは特別な夢を見ました。ネブカドネザルは賢人たちに、ネブカドネザル自らが見た夢を示し、解き明かせとの命令を下します。しかし他人の見た夢を示すことなど誰にも出来ません。しかもその命令は、ネブカドネザルが見た夢を示すことが出来ないならば、死罪に処すという過酷なものでした。

ダニエルも賢人の一人でしたので、ダニエルの命も危ういものとなりました。しかし神を篤く信じていたダニエルは、神の助けを懇願します。そして遂に神の助けによって夢を知ることが出来ました。

その夢は次のようなものでした。

王よ、あなたは一つの大いなる像が、あなたの前に立っているのを見ました。その像は大きく、非常に光り輝いて、恐ろしい外観をもっていました。

その像の頭は純金、胸と両腕とは銀、腹と、ももとは青銅、すねは鉄、足の一部は鉄、一部は粘土です。

あなたが見ておられたとき、一つの石が人手によらずに切り出されて、その像の鉄と粘土との足を撃ち、これを砕きました。

こうして鉄と、粘土と、青銅と、銀と、金とはみな共に砕けて、夏の打ち場のもみがらのようになり、風に吹き払われて、あとかたもなくなりました。

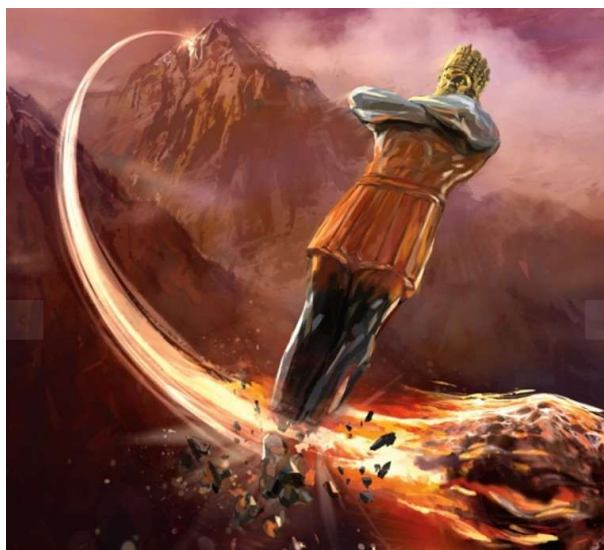
ところがその像を撃った石は、大きな山となって全地に満ちました。

これがその夢です。今わたしたちはその解き明かしを、王の前に申しあげましょう。  
(ダニエル

2:31-36)

金、銀、銅、鉄、粘土で出来た巨大な像の夢で、さらにその像は山から飛んでくる石によって打ち砕かれるというものでした。

これは単なる巨像の夢ではありません。世界を支配する偉大な国家の移り変わりを示す幻だったのです。



## 巨像の謎

この解き明かしをダニエルは次のように述べています。

王よ、あなたは諸王の王であって、天の神はあなたに国と力と勢いと栄えとを賜い、

また人の子ら、野の獣、空の鳥はどこにいるものでも、皆これをあなたの手に与えて、ことごとく治めさせられました。あなたはあの金の頭です。

あなたの後にあなたに劣る一つの国が起ります。また第三に青銅の国が起って、全世界を治めるようになります。

第四の国は鉄のように強いでしょう。鉄はよくすべての物をこわし砕くからです。鉄がこれらをことごとく打ち砕くように、その国はこわし砕くでしょう。

あなたはその足と足の指を見られましたが、その一部は陶器師の粘土、一部は鉄であったので、それは分裂した国をさします。しかしあなたが鉄と粘土との混じったのを見られたように、その国には鉄の強さがあるでしょう。

その足の指の一部は鉄、一部は粘土であったように、その国は一部は強く、一部はもろいでしょう。

あなたが鉄と粘土との混じったのを見られたように、それらは婚姻によって、互に混ざるでしょう。しかし鉄と粘土とは相混じらないように、かれとこれと相合することはありません。

それらの王たちの世に、天の神は一つの国を立てられます。これはいつまでも滅びることがなく、その主権は他の民にわたされず、かえってこれらのもろもろの国を打ち破って滅ぼすでしょう。そしてこの国は立って永遠に至るのです。

一つの石が人手によらずに山から切り出され、その石が鉄と、青銅と、粘土と、銀と、金とを打ち砕いたのを、あなたが見られたのはこの事です。大いなる神がこの後に起るべきことを、王に知らされたのです。その夢はまことであって、この解き明かしは確かです」。(ダニエル 2:37-45)

ではこのダニエルの解き明かしは世界史の中で成就してきたでしょうか。

確かに成就してきました。

金として示されたのは**バビロニア帝国**でした。

次に起こるのは銀で示されている**メディア・ペルシャ**で前539年にバビロニアを打ち破りました。

次に起こるのは青銅で表されている**ギリシャ**でアレクサンドロス大王のもと破竹の進撃でメディア・ペルシャを打ち破りました。

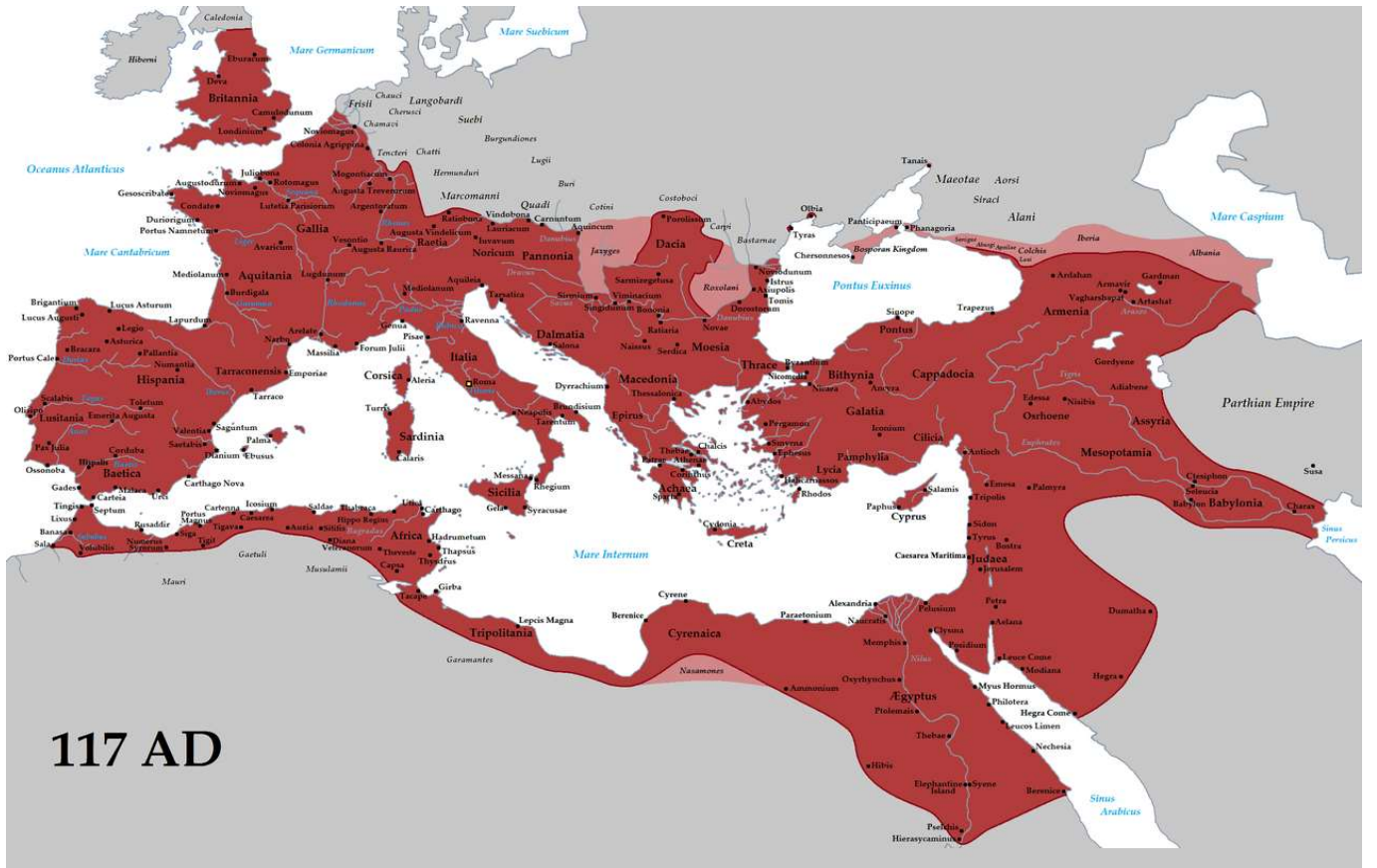
次に起こるのは鉄で示された非常に強力な王国でした。そう**ローマ帝国**です。

まさに鉄の強さを持ってヨーロッパを中心に諸国家を支配下に納め、今日にまでその影響を与えています。では次に現れる鉄と粘土の混じった国家とは何でしょうか。



バビロニア帝国の版図





117 AD

ローマの最大版図 北はイギリスから南はエジプトまで実に広大な地域を支配している

ローマの次に現れる世界強国

歴史はそれがイギリスであることを示しています。  
 ローマの属州であったイギリスは、次第に力を付けて勢力を伸ばし、遂に大英帝国として全世界の4分の1を支配下に置いたと言われています。



イギリスの植民地 全世界に及んでいる

まさに「日の沈まない国」になったと言えます。その後、イギリスの植民地であったアメリカが独立し、英米世界強国を形成していきます。

ここに鉄と粘土の混じった国家とは、英米世界強国を指していたことが明らかになったのです。

ダニエルが預言してから実に2000年以上経っていました。

また鉄で示されているように、ローマの流れをくんでいる強力な軍隊を持っていることは明らかです。

### 粘土とは何か？

では粘土とはどのような意味でしょうか。

人は土で造られており、粘土が表すのは人であると言えます。つまり粘土とは人権を重んじる民主主義的勢力と言えます。

鉄が表す独裁的な権力と、粘土が表す民主主義的勢力は、根本的に融合することはなく、相分かれられていると言えます。

今日でも独裁的な国家は強力な力を有していますが、概して民主主義的な国家は強力ではなく弱点を抱えています。

### 像を打ち砕く石

では人手によらず、山から切り出され、像を打ち砕く石とは何でしょうか。

神が立てられたメシア王国を表しています。

その王国は全地を打ち砕き、全世界を治め、人類が経験してきた様々な問題を解決します。

この王国に関しては「千年王国」とも「神の王国」とも呼ばれています。

キリストの支配のもとで人類が経験してきた様々な苦難が癒され、真の愛と平和が満ちる社会が実現します。

最後の世界強国が誕生しているのですから、メシア王国が強国を打ち破り、全地を治める時が近づいていると言えるでしょう。

ダニエルの解き明かしが真実であることを、さらに確証する幻がダニエルに与えられます。次回はそのことに注目したいと思います。

### ネブカドネザルの夢とダニエルの預言

